

町政報告

町会議員 高阪康彦

☆ご挨拶 花の便りが聞かれる頃となりました。お元気で過ごせしと存じます。

三月議会は、町長の31年度の施政方針が示され31年度予算が議会に提出されました。一般会計は1百7億2千1百30万1千円、前年度対比5.1%減（5億8千万円減）です。主な要因は昨年度に実施した普通建設事業の完了に伴う減額です。今年度はハード事業よりソフト面の充実に重点を置きたいと説明を受けました。具体的には、切れ目のない子育て支援の実施に向けた「子育て世代包括支援センター」の設置。防災マップ、洪水・浸水・津波ハザードマップの更新。転入促進ガイドブックの作成や、移住、起業、就業の支援事業などです。又、本年10月には



町政施行130年を迎えます。県内でも一番古い町であり、町民全体で喜び更なる町の発展を期待したいと思います。

さて、この4月で議員の任期が満了し、改選を迎える時期となります。熟慮の結果、五期目の出馬を決意しました。後援会の皆様方には、まるい通信を続けて発行出来ませう、変わらぬ応援を心よりお願い申し上げます。

◇3月定例議会では主に▽平成30年度一般・国保・介護保険・後期高齢者保険の補正予算を可決▽平成31年度予算・平成31年度水道事業会計予算を承認。
▽代表質問 会派代表5名が質問。私は「新風」を代表して町長の施政方針を問いました。▽全員協議会 主に①狭あい道路の拡幅整備に関する補助制度の報告（後退用地を寄付した場合、登記に要する費用などに上限10万円の補助）◎蟹江町斎苑等管理運営協議会・専門委員会から蟹江町斎苑再編構想として、本町・舟入と2箇所ある火葬場を「舟入斎苑への一本化」とする提言が運営協議会に提出され運営協議会の全委員が提言に同意。

（後援会内部資料）

